

令和5年度事業計画

事業体系図



令和5年度事業計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

事業計画作成にあたって

令和5年度事業計画は、現在も継続する新型コロナウイルス感染症対策と、国が方針を示した5類感染症への見直しに向けた今後の動きを見据えながら、当協会が実施する各種事業を効果的・効率的に運営することを目指し作成したところです。

はじめに公益目的事業のうち、コンベンション事業においては、これまで新型コロナウイルスの影響によりセールス活動が制限されてきましたが、令和4年9月にグランドオープンした「あきた芸術劇場ミルハス」をセールスの柱として積極的なセールス活動を展開し、大型コンベンションの誘致に努めます。また、コンベンション開催支援助成金を始めとした、コンベンション開催に対する当協会のサポート体制を積極的にPRし、コンベンションが開催しやすい環境を整えることでコンベンション開催需要の回復を目指してまいります。

観光事業においては、「これが秋田だ！食と芸能大祭典」を4年ぶりに中心市街地で開催し、地元経済の回復と中心市街地のにぎわいに努めます。また、国等の感染症に対する見直し状況も踏まえながら県外プロモーションを積極的に行い、県内外からの誘客促進に結びつけてまいります。

教育旅行誘致においては、秋田県や県内市町村と連携し、自主研修を主軸にしている札幌市を中心とした北海道を始め、コロナ禍の影響で令和2年度以降受入実績が増加している東北域内への誘致活動を強化してまいります。

観光客おもてなし事業においては、秋田駅の秋田市観光案内所および秋田市まちなか観光案内所と秋田市観光案内人等との連携を図り、観光案内業務の充実と秋田市の歴史および文化を生かしたまちあるき観光を継続して推進します。また、クルーズ船やチャーター便などの需要回復を見込み、秋田県や秋田市、観光連盟や商工会議所など関係団体と連携のうえ、お出迎え行事等のおもてなし体制の充実を図ってまいります。

収益目的等事業においては、竿燈まつり事業や売店運営等事業において、協会財政基盤の安定化に向けた売上増加を目指してまいります。

【公益目的事業】

I コンベンション事業

1 誘致事業	961千円
---------------	--------------

(1) コンベンションの誘致セールス	580千円
---------------------------	--------------

これまでのセールス活動や情報収集事業において蓄積された情報をもとに、県内外のキーパーソンおよびコンベンション主催者に対し、新施設「あきた芸術劇場ミルハス」や、食、観光地などの魅力を積極的にPRし、誘致件数の増加を図るとともに、開催地事務局となる地元の学会支部や協会へのセールスを強化し、立候補を促すことで開催件数の増加を目指す。

- 地元セールス・・・随時（目標50件）
- 首都圏セールス・・・年5回程度（目標50件）

(2) 各種セールスツールの製作・配布	381千円
----------------------------	--------------

開催地選定のための都市PRには、ノベルティグッズの効果も大きいことから、デザインなどを工夫したノベルティグッズを製作し、誘致活動において配布する。また、「あきた芸術劇場ミルハス」「秋田市文化創造館」など新たな情報を盛り込み、令和4年度に製作したセールスパンフレット、コンベンション施設ガイドを誘致セールスに活用する。

- ノベルティグッズ・・・・・・・・・・1～2種類製作

2 情報収集事業	1,858千円
-----------------	----------------

(1) 東北地区コンベンション推進協議会への参画	386千円
---------------------------------	--------------

東北・新潟地区のコンベンション推進団体により結成される協議会へ参画し、他都市の誘致活動状況やコンベンション情報を収集する。

また、同協議会会員都市が一丸となってコンベンションを誘致することを目的として開催する「東北地区MICE誘致懇談会」にも参画し、積極的なセールス活動を行う。

- 定例総会・・・・・・・・・・令和5年7月予定（長岡市）
- 実務職員研修会・・・・・・・・令和5年10月予定（盛岡市）
- MICE誘致懇談会・・・令和5年12月予定（東京都）
- 会員都市 [青森県] 青森市、弘前市、八戸市
(17団体) [岩手県] 盛岡市
[山形県] 山形市、庄内地区、米沢市
[宮城県] 仙台市、気仙沼市
[福島県] 郡山市、福島市、会津若松市
[新潟県] 新潟市、長岡市、上越市
[秋田県] 秋田市、横手市

(2) 7都市情報交換会への参画

843千円

7都市情報交換会とは

全国規模のコンベンションは、全国をブロックに分けて持ちまわり開催することが多いことから、各ブロックから1つの都市が集まり、各都市で開催された、あるいは開催決定した全国コンベンションの主催者を加盟各都市へ紹介し合うことを目的に結成している。

<参加都市>

- | | | |
|--------------|------|------------------|
| ➤ 北海道ブロック | 旭川市 | 旭川観光コンベンション協会 |
| ➤ 東北ブロック | 秋田市 | 秋田観光コンベンション協会 |
| ➤ 関東・甲信越ブロック | 前橋市 | 前橋観光コンベンション協会 |
| ➤ 中部・北陸ブロック | 岐阜市 | 岐阜観光コンベンション協会 |
| ➤ 近畿ブロック | 姫路市 | 姫路観光コンベンションビューロー |
| ➤ 中国・四国ブロック | 松山市 | 松山観光コンベンション協会 |
| ➤ 九州ブロック | 鹿児島市 | 鹿児島観光コンベンション協会 |

各都市において開催済みあるいは開催予定のコンベンション主催者を招待し、競合しない他都市へ紹介しあう「7都市情報懇談会」を開催し、効率的な誘致活動を実施する。

○7都市情報懇談会：令和6年1月 東京都

○7都市担当者会議：年5回（7月、10月、12月、1月、3月）

(3) JNTO・JCCBの活用

246千円

JNTO（日本政府観光局）

海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議の誘致・支援およびその他の情報を提供している。

JCCB（日本コンGRES・コンベンション・ビューロー）

日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

JNTOが発行するメールマガジンや海外向けガイドブックへ情報提供を行い、海外における観光宣伝および国際会議の誘致促進を図る。

また、JCCBに参画し、コンベンションビューロー部会やコンベンション開催意向調査データを活用し、国際・国内コンベンションの誘致促進につながる情報収集を図る。

○第1回コンベンションビューロー部会：令和5年7月予定（滋賀県）

○第2回コンベンションビューロー部会：令和5年12月予定（関東地方）

○コンベンション開催意向調査データ：約4,400件の主催者情報

(4) 各種統計・調査

383千円

秋田市内で開催される予定のコンベンション情報を調査し、受け入れ態勢の整備に役立つほか、コンベンションカレンダーの作製・配布やホームページにより広く情報提供する。

また、コンベンション開催の成果を可視化するため、経済波及効果の測定を専門機関に委託する。

3 支援事業

12,242千円

(1) コンベンション開催支援助成金の交付

9,600千円

秋田市で開催されるコンベンション主催者に対し、開催費用の一部を助成し、コンベンションが円滑に開催できる環境を整えることで、コンベンション開催件数の増加に結びつける。

- 主な交付条件：国際規模 国外参加者が 50名以上
国内規模 県外参加者が100名以上（東北規模以上）
- 助成金額：国際規模 外国人参加者 1名につき3,000円
県外参加者 1名につき 1,000円
国内規模 県外参加者 1名につき 1,000円

(2) 支援ツールの製作・提供

47千円

コンベンション参加者が資料等の持ち運びに便利なコンベンションバックを販売する。また、アフターコンベンション等に活用できる観光ガイドブックを無料提供し、参加者の利便性向上や経済波及効果の促進を図る。

- コンベンションバック 6,100部
- 観光ガイドブック配布予定数 30大会

(3) 歓迎ムードの醸成

2,253千円

コンベンション主催者が秋田らしいアトラクションで参加者をお出迎えできるように、伝統芸能出演料の助成やあきた観光レディーの無料派遣などを実施するほか、コンベンション開催を歓迎するポスターを製作し、賛助会員等の飲食店やお土産店、宿泊施設などに配布して一体感のある歓迎ムードの醸成を図る。

- 支援対象：国際規模 50名以上、全国規模 250名以上、東北規模 400名以上
全国規模 1,000名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- 支援内容：
 - 歓迎ポスター・・・1回あたり 850枚製作し飲食店等へ配布
 - 伝統芸能出演料助成金・・・出演料の 1/2 かつ上限 50,000円
 - あきた観光レディー・・・2名まで無料派遣

(4) あきたコンベンション応援団の活用

342千円

コンベンションの円滑な開催を支援するため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、秋田駅や秋田空港でのお出迎え案内や開催当日の会場案内などのサポートを行う。

- 応援団登録者：27名（令和5年1月末現在）
- 派遣対象：国際規模 50名以上、全国規模 250名以上、東北規模 400名以上
全国規模 1,000名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- 派遣人数：延べ10名まで無料派遣

II 観光事業

1 観光誘客事業

49,561千円

(1) 県外への観光PR

5,465千円

首都圏や北海道などで開催されるイベントに参加し、市や県などと連携した観光PRを実施するほか、観光誘客ポスターの製作・掲出によって観光客誘致の促進を図る。

また、観光客等の情報収集源となっているホームページやSNSの充実により、広く情報発信を行う。

○県外での主な観光PR

- ・函館グルメフェスティバル（北海道函館市）
- ・東北復興大祭典なかの（東京都中野区）
- ・ふるさと祭り東京（東京都文京区）
- ・北前船寄港地フォーラム（岡山県）

○観光誘客ポスターによるPR

秋田美人ポスター製作部数 約2,550枚

掲出場所 首都圏JR主要駅、市内観光施設、県内道の駅ほか

○ホームページの運用

アキタッチ+（プラス）と協会ホームページの適切な更新や、SNSの活用などにより、国内外に対して様々な観光情報の発信を行う。

(2) あきた観光レディーによる観光PR

4,471千円

昨年度に引き続き、一般公募により新たに委嘱する3名のあきた観光レディーにより、秋田竿燈まつりや東北絆まつりなど、県内外で開催される観光イベントに参加し、秋田の観光PRを実施するほか、クルーズ船等のお出迎え等を行う。

○主な参加イベント

- ・これが秋田だ！食と芸能大祭典2023
- ・東北絆まつり2023 青森
- ・秋田竿燈まつり

(3) 観光ガイドブックの製作・配布

4,006千円

秋田市の観光と飲食に関する情報を掲載したガイドブックを製作し、各種施設やコンベンション参加者に配布するとともに、県内外での観光PRにおいても活用する。

○製作部数

秋田市観光ガイドブック 冊子版（日本語）	20,000部
秋田市観光ガイドブック ダイジェスト版（日本語）	40,000部

(4) 各種イベントの推進、観光資源の活用

19,921千円

千秋公園桜まつりやつつじまつり、これが秋田だ！食と芸能大祭典などのイベントを開催するほか、秋田犬などの観光資源を活用し、県内外からの誘客促進を図る。

また、秋田商工会議所や秋田市と連携し、都市型観光の魅力アップを図るため、千秋公園お堀沿いの蓮をライトアップするナイト観光を推進し、観光スポットとしての定着化を目指す。

- 千秋公園桜まつり・つつじまつり
期間：桜まつり・・・令和5年4月中旬～下旬（予定）
つつじまつり・・・令和5年5月中旬～下旬（予定）
- 秋田犬ふれあい処 in 千秋公園
期間：令和5年5月5日（金）～10月31日（火）
- これが秋田だ！食と芸能大祭典 2023
期日：令和5年5月27日（土）、28日（日）
会場：エリアなかいち、アゴラ広場、仲小路、秋田市文化創造館、秋田駅田駅西口広場（予定）
- 千秋公園蓮の花ライトアップ（秋田商工会議所主催「千秋蓮まつり」との連携事業）
期間：令和5年7月中旬～8月中旬
会場：千秋公園周辺
- 横手かまぐら展示
期間：令和6年1月下旬～2月上旬

（5）あきたおさんぽマップの運用 2, 232千円

手持ちのスマートフォンで、気軽に秋田市のまちあるき観光を楽しめるよう令和2年度から制作・公開したサイトである「あきたおさんぽマップ」のPRや情報更新を実施する。

○おさんぽマップ概要

種 類	マップ数	内 容
観光・飲食マップ	2	日本語版、英語版
文化財マップ	4	中央地区、八橋・川尻地区、寺内地区、土崎地区
古地図	2	江戸後期城下絵図、昭和26年秋田市街全図

（6）教育旅行の誘致 13,466千円

県内市町村等との連携により、秋田の食や文化、自然、芸術など、既存メニューの磨き上げと新たな観光資源の発掘を行い、特色のある滞在型・体験型メニューの充実を図るとともに、北海道を始め東北域内の教育関係者、旅行代理店等への誘致活動を強化し、誘致件数の増加に結びつける。

○教育旅行の誘致

- ・北海道、東北域内、首都圏の旅行代理店、教育機関等へのセールス
- ・商談会、セミナーでのPR
- ・ホームページ、パンフレットを活用したPR
- ・各種助成金の交付

○教育旅行の受入

- ・北海道旅行代理店の社員を招聘したモニターツアーの実施
- ・自主研修マップ、ランチマップの制作、提供
- ・イングリッシュヴィレッジ（以下EV※）の調整
※English Village：国際教養大学が実施する英語体験メニュー
- ・荒川区ワールドスクールの受入

○令和5年度の誘致数

教育旅行・・・国内15校1,000名程度
（令和4年度国内15校922名 秋田県内を除く）
EV・・・予定数16件560名

2 観光客おもてなし事業	40,451千円
---------------------	-----------------

(1) 観光案内所の運営	27,693千円
---------------------	-----------------

2つの観光案内所の運営により、中心市街地を周遊する観光客のニーズに対し、的確に対応できる環境の充実を図る。

○秋田市観光案内所（秋田駅構内）

秋田市内や県内各地の観光情報をリアルタイムで収集し、来所者のニーズに沿った情報を提供するとともに、県内や東北地区の観光案内所とも連携し、広域的な観光案内を実施する。

開所時間：9時～19時（11月～3月は18時まで）

○秋田市まちなか観光案内所（大町一丁目）

当協会が指定管理者となっている「秋田市まちなか観光案内所」を拠点として、引き続きまちあるき観光を推進していく。

開所時間：9時～19時（11月～3月は18時まで）

1階 秋田市まちなか観光案内所窓口

2階 秋田観光コンベンション協会事務所

※職員は2カ所の案内所をローテーションで配置する。

(2) 秋田市観光案内人の活用	1,060千円
------------------------	----------------

秋田市内の名所や旧跡、歴史や郷土芸能等を案内するボランティア「秋田市観光案内人」を育成・活用し、まちあるき観光やクルーズ船寄港時の観光案内等を実施する。

○秋田市観光案内人登録者数：38名（令和5年1月末現在）

○まちあるき観光案内所

4月中旬から12月上旬までの土日や祝日、竿燈まつりなどの期間に、エリアなかいちに設置（4人体制）

(3) おもてなし体制の整備	11,698千円
-----------------------	-----------------

インバウンドの需要回復を見据え、観光業従事者等を対象としたおもてなし研修を開催するほか、クルーズ船・チャーター便歓迎セレモニーの実施など、おもてなし体制の充実を図る。

○おもてなし研修の開催

内 容：接客・接遇対応（2月頃開催予定）

対象者：接客業、飲食店、宿泊業などの観光事業の従事者

○音声翻訳機の活用（ポケトーク4台保有）

○売店や出展ブースでのキャッシュレス対応

○チャーター便、クルーズ船来航時のあきた観光レディーによるお出迎え

○クルーズ来航時や竿燈まつり、大型コンベンションの開催時における歓迎セレモニーの実施やインバウンド対応用観光案内ブースの設置

○外国語版のホームページおよびあきたおさんぽマップの運営、案内

【収益目的等事業】

I 竿燈まつり事業

1 竿燈観覧席予約センターの運営	1,873千円
-------------------------	----------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売	587千円
---------------------------	--------------

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

○製作予定本数：12,000本

○販売価格：1本150円

II 売店等運営事業

1 売店運営事業	6,188千円
-----------------	----------------

○千秋公園売店運営

当協会の財政健全化に結びつく主力事業と位置付け、人気商品である期間限定ソフトクリームや秋田犬グッズ等従来の売れ筋商品に加え、新商品の取り揃えも視野に入れ収益アップを図る。

営業期間：4月中旬から11月中旬

主な取り組み：千秋公園期間限定ソフトクリームの販売

4月～6月：さくらソフト

7月～11月：はちみつソフト

桜まつりの開催に合わせたアルコール類の販売

秋田犬、竿燈まつり、なまはげグッズ等の販売

キャッシュレス対応

イベントでの出店販売など

○県立中央公園スポーツゾーン売店運営

営業日：5月～9月のイベント開催時のみ

※経営を地元の賛助会員へ委託予定

2 自動販売機設置事業	1,037千円
--------------------	----------------

○設置箇所：千秋公園、八橋運動公園、スポーツパークかわべ、へそ公園、秋田県立中央公園、ふるさと温泉ユアシス（計35台）

Ⅲ 組織推進事業

1 賛助会員事業

804千円

○賛助会員交流会の開催

賛助会員が一同に会する交流会を開催し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

開催時期：令和5年3月

会場：未定

○賛助会員親睦ゴルフコンペの開催

開催時期：令和5年9月

会場：未定

<参考>

令和4年度末賛助会員数：287団体（453口）新規加入6件、退会12件

2 各種団体との連携

715千円

県や市、秋田商工会議所など各種団体との連携した会議等に積極的に参画し、情報交換や人的交流を図り、賛助会員へ提供する最新情報の収集や、円滑な事業運営に結びつける。

令和5年度収支予算（案）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

予算編成にあたって

新型コロナウイルス感染症のまん延以降、当協会が役割を担う公益目的事業については大幅な変更を余儀なくされましたが、令和4年度は、大型イベントの規制緩和や全国旅行支援の実施、あきた芸術劇場ミルハスのオープンなどにより、観光、コンベンションとも需要が戻りつつあり、約9割の予算執行を見込んでおります。

令和5年度には、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への引き下げ、クルーズ船の寄港再開など、さらなる需要の回復が期待できることから、令和5年度の予算編成にあたり、令和4年度の実績見込みを踏まえつつ、限られた予算内で効果的かつ効率的な事業が実施できるよう適切な予算配分に努め、さらなる地元経済の活性化に寄与してまいります。